

ディスコグラフィー掲載

ディスコグラフィー 【2017No.66】 (HP 掲載)

分類：CD/SACD

作曲家：ヨハン・セバスティアン・バッハ

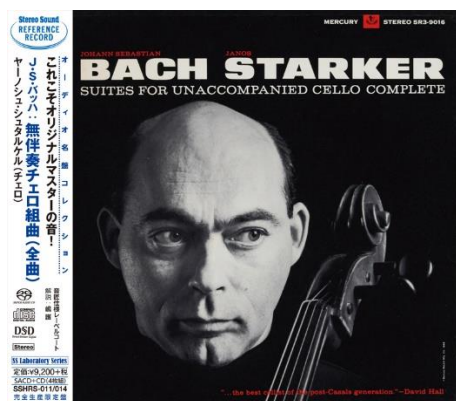
曲名：無伴奏チェロ組曲 BWV 1007-1012

演奏：ヤーノシュ・シュタルケル(チェロ)

発売：ステレオサウンド社

No. : SSHRS-011/014

概要：



2017 大阪サウンドコレクションに行き、ステレオサウンド誌のコーナーで買い求めたもので、ステレオサウンド誌の企画による名盤の復刻版です。

オーディオ名盤コレクション

オーディオファイルの喜びは、名曲の名演奏×名録音を聴くことに尽きます。『永遠の価値を持つ歴史的な演奏・名録音』のアナログ・マスターテープは、世界中のレコード会社に保管されています。ステレオサウンド社は、その中から良質のマスターテープを発掘し、最新技術を駆使して“最良の音”に仕上げる『オーディオ名盤コレクション』をスタートさせました。

本商品はオリジナル・アナログ・マスターテープの音声をほぼ無加工でデジタル化したものです。そのため、原則として、超低域のカットはおろか、音を聴きやすくするためのイコライジングやマスターテープに起因するノイズカットおよびドロップアウト等の補正処理を行っていません。これは限られた制作関係者のみが聴くことが可能だったマスターテープの音をできる限り忠実にオーディオファイルの元にお届けしたい、という商品企画に基づくものです。

収録曲は以下のとおりです。

Disc 1

第1番 ト長調 BWV1007

第2番 ニ短調 BWV1008

第3番 ハ長調 BWV1009

Disc 2

第4番 変ホ長調 BWV1010

第5番 ハ短調 BWV1011

第6番 ニ長調 BWV1012

入手した盤は、CD とシングルレイヤーSACD がセットになっており、次のようなルートで再生してみました。

① CD : BRD-UT16WX→HFAS1-S10→BS-GS2016/A→Sonica DAC (LAN 入力)

② CD : BRD-UT16WX→HFAS1-S10→Sonica DAC (USB 入力)

③ SACD : Maranz SA11-S2→Sonica DAC (ライン入力)

①の CD の LAN 入力では、非常に鮮明で、上記のマスターテープからの補正処理を行っていないという解説どおり、ノイズまでも鮮明に入ったリアルな音がします。

②の CD の USB 入力では、①よりさらに忠実度がまし、アナログ的と言っていいほどの音がします。

③の SACD のライン入力では、ソフトな音で、これもアナログ的と言っていい音です。演奏は定評のあるもので、若干マスター由来のノイズは気になりますが、名演奏の復活高音質盤と言っていいでしょう。

以上